

令和6年度 「学校活動評価」 集計結果

多治見市立多治見中学校

11月にお願いしましたアンケートの結果です。下の表は保護者・生徒・教職員で実施し、三者の平均をとり前期と比べたものです。平均2.5がほぼ真ん中となり、それ以上で4に近い項目ほどよくできていることになり、1に近いほどまだ不十分となります。学校では、来年度のいろいろな計画にこの評価をもとに検討し、さらによい学校をめざして取り組んでまいります。アンケートへのご協力ありがとうございました。

学校の教育目標 『 よく考え 認め合い 誠実にやりとおす 』

評価の対象	評価の着眼点	生徒		保護者		教職員		前期から後期へのポイント変化						
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	生徒	保護者	職員	令和5年度から令和6年前期へのポイント変化 三者平均 ○は増加▲は減少を示す	令和6年後期 三者平均		
学校の姿	学校・学級の教育活動を理解しようとしたか。			3.64	3.68	3.81	3.75		0.04	-0.06		-0.01	▲	3.71
	通信やメールなどの内容は分かりやすいものか。			3.59	3.58	3.74	3.79		-0.01	0.04		0.02	○	3.68
	通信やメール（絆ネット）で適宜連絡されているか。			3.64	3.65	3.81	3.89		0.01	0.08		0.04	○	3.77
	保護者と教職員は、互いの立場を尊重しながら、協力して生徒や学校の課題解決に取り組もうとしたか。			3.47	3.46	3.56	3.32		-0.01	-0.23		-0.12	▲	3.39
	PTA活動など、学校と保護者が協力して取り組む活動に積極的に参加できたか。			3.28	3.29	3.52	3.61		0.01	0.09		0.05	○	3.45
生徒の姿	生徒は、周囲の仲間からよさを認められていると感じているか。	3.36	3.42	3.38	3.46	3.33	3.25	0.06	0.07	-0.08		0.02	○	3.37
	生徒は、失敗を恐れなくて挑戦しようとしていると思うか。	3.12	3.10	3.15	3.13	2.81	2.71	-0.02	-0.03	-0.10		-0.05	▲	2.98
	生徒は主体的に考え、行動していると思うか。	3.21	3.23	3.24	3.14	3.00	3.04	0.02	-0.10	0.04		-0.01	▲	3.14
	生徒は、仲間との立場や考えの違いを理解して、協力しようとしていると思うか。	3.52	3.52	3.48	3.53	3.33	3.25	0.00	0.05	-0.08		-0.01	▲	3.43
	生徒は、自分によいところがあると思っているか。	3.32	3.28	3.48	3.42	3.15	3.07	-0.04	-0.06	-0.08		-0.06	▲	3.26
学力の定着	中学校での学習で、生徒に基礎的・基本的な知識・技能、思考・判断・表現力が身に付いていると思うか。	3.30	3.22	3.22	3.21	3.15	3.21	-0.07	-0.02	0.07		-0.01	▲	3.21
	生徒は、家庭学習にしっかり取り組むことができているか。	3.27	3.20	3.15	3.05	2.93	2.79	-0.07	-0.10	-0.14		-0.10	▲	3.01
	三者懇談会では、生徒の成長や進路実現のため、三者での積極的な対話ができているか。	3.13	3.15	3.45	3.37	3.44	3.46	0.02	-0.08	0.02		-0.01	▲	3.33
日常生活	生徒は、学校に行くことを楽しいと感じているか。	3.36	3.37	3.44	3.36	3.15	3.18	0.01	-0.08	0.03		-0.01	▲	3.30
地域	生徒は地域の活動（資源回収、地域活動へのボランティア、公民館等の行事など）に積極的に参加できているか。		集計漏れ		2.82		集計漏れ							2.82

回答を要求していない項目については、空欄。数値は、「4；あてはまる 3；ややあてはまる 2；ややあてはまらない 1；あてはまらないで集計。

前回と今回を比較した結果、微増減はありましたが、後期の三者平均もほとんどの項目で3以上であったため、学校運営についてはおおむね良好であると考えます。一方で、平均（2.5）以上では、あるものの「挑戦する姿」に弱さが見られます。「挑戦する姿」を高めるためには、「自己肯定感の高まり」、「主体性（当事者性）の高まり」、「失敗を受け止めてもらえる風土」が学校や地域、家庭の中で培われる必要があります。今後ともご協力をお願いします。